

通いの場で気をつけるポイントについて

コロナ禍においても、感染予防に努めながらサロン活動等を行うことで介護予防等に取組むことができるよう、活動時の注意点をまとめました。コロナ禍であっても活動が再開・継続できるよう一人ひとりが感染予防に努めましょう。

通いの場に参加する時の注意点（参加者向け）

- 自宅で**体温を測定**し、平熱であることを確認しましょう。
- せきが出たり体がだるいなど、かぜの症状がある方やご家族に体調不良の方がいる場合は、**無理せず休みましょう**。
- **マスクを着用**しましょう。（鼻と口をしっかりと覆う）
- 参加時は**こまめに水と石けんで手洗い**をしましょう。
- 周囲の人との**距離はできるだけ2m（最低1m）は空け**、できるだけ**対面にならない**ようにしましょう。また、人との距離が近い場合には、**会話を控えましょう**。

通いの場を開催する時の注意点（主催者、リーダー向け）

- **参加者名簿を作成**し、参加者の体温や連絡先を把握できるようにしましょう。
- 参加者には「自宅での**体温測定**」「症状がなくても**マスクを着用**する」「**水と石けんでこまめに手を洗う**」よう呼びかけましょう。
- 活動時は、可能な限り窓を開け、**常時換気**を行いましょ。う。（冬場の寒い時期は、火災に注意して暖房器具の近くの窓を開け換気すると冷気が暖められるため、室温の低下を防ぐことが可能です。）
※常時窓を開けることが困難な場合は1時間に2回以上、数分間換気しましょう。
- 参加者同士の**距離はできるだけ2m（最低1m）は空け**、**対面にならない**横並びの配置にしましょう。
- **会話は控える**ようにし、話をする際は、マスクは外さず大声は出さないように呼びかけましょう。
- **手が触れる場所**（ドアノブ、手すり、テーブル、イス等）は**消毒**しましょう。
- 距離がとりにくい場合は**活動時間を短く**する、人数が多い場合は、グループ分けして**活動時間や日にちをずらす**などを検討しましょう。

【参考資料】厚生労働省：「通いの場に参加するための留意点」